

## 令和5年度 第1回博物館協議会 議事録

日 時：令和5年6月30日（金）13：30～15：00

場 所：八戸市博物館 2階 体験学習室

出席委員：6名

工藤竹久会長、滝尻善英副会長、有馬克美委員、平間恵美委員、  
川口桂子委員、工藤由貴子委員

（※欠席3名 元沢弘志委員、出貝幸浩委員、蔦川誠委員）

事務局：9名

齋藤教育長、八木田教育部長、鈴木教育部次長兼教育総務課長、  
小保内博物館館長、佐々木博物館副館長、下村南郷歴史民俗資料館長、  
米田主査、市川主査兼学芸員、野沢主査兼学芸員

次 第

- 1 委嘱状交付
- 2 開会
- 3 教育長挨拶
- 4 会長挨拶
- 5 案件

(1)令和4年度事業実施報告について

(2)令和5年度事業計画について

(3)その他

※1～4省略

5 案件（1）令和4年度事業実施報告 質疑応答

（事務局説明後、質疑応答）

●会長

事務局から令和4年度事業報告がありましたが、何かご質問はございますか。

まず私からは夏季特別展「ナゲモノ拾いから始まった一ハマの民俗と文化財一」というタイトルのことで。もう少し親しみやすいタイトルがよかったのではと個人的に思っていました。そのような意見はありませんでしたか。

○事務局

そのような意見も多少ありました。テーマもそうですし、展示内容も少し難しかったと思っています。保存の担い手がいなくなっていること、モノが年々劣化していること、津波の浸水区域の中に入ってしまったことなど、マイナスの要素も多く展示してありましたので、全体的に内容が暗いというご意見がありました。

●会長

あの場所だから意味があるということで、これまで保存してきましたけど、津波への対策もあわせて、今後のあり方を引き続き検討してほしいと思います。

あとは、年報8ページのミニパネル展「八戸の災害」についてですが、市内の消防署には田村義三郎さんが発明したタンク付き消防車がありますし、南郷にはベンツの消防車もありますよね。消防車は子どもたちに人気がありますから、そういったものを展示に反映させてみてはどうかと感じた次第です。他に何かございますか。

●委員

大イチョウがかなり弱っているという話を耳にしていたので、樹根調査の結果が気になります。樹勢の回復には土壌改良だけで済むものなのか、そのあたりのことを教えていただければと思います。

○事務局

調査を受託した八戸市森林組合からは根が広がっている範囲の土壌改良をすれば、少しずつ樹勢が回復していくと伺っています。ただ、土壌改良は一気にやってしまうと樹木への負担が大きいため、段階的に進めた方がよいという助言をいただいております。

●会長

回復にはどのぐらいの期間を要する見込みですか。

○事務局

期間は具体的になっておりません。予算の状況もみながら、段階的に進めていきたいと考えております。

●会長

他に何かございますか。

●委員

イチョウ WeeK!に来られた方というのはどういった方が多いのでしょうか。

○事務局

県外客が非常に多く来られています。休日には市内の家族連れも多数おいでいただいております。

●委員

資料の寄贈に関して質問です。ナゲモノではないですが、要らなくなったけど、価値があるようなものを博物館に寄贈しようという話が今後どんどん出てくると思っています。資料寄贈に関して、受入れの基準など設けているのでしょうか。

○事務局

特に明確な基準は定めておりません。郷土の歴史を理解するうえで必要なものか、当館の収蔵品と関連性があるかという二つの観点から主に判断しております。

●会長

前に、同じような民俗資料が多数寄贈されているから受入れの基準を作ってはという意見があったと記憶しておりますが、今も特にないわけですね。

○事務局

資料に関しては、似ているようなものでも、どれも微妙に違いがあると考えています。版画を例にとれば、同じ版から刷られた作品はすべて同じと思われがちなのですが、誰が、どのように所有していたかという、二次的な付加価値がつく場合もありますので、

一見同じようなものでも時間の経過とともに別の価値が出てくることもあります。

資料にはそのような特性がありますので、私たちは一点一点調査して判断するという形をとっております。

## ●委員

資料寄贈の話を受けて、資料を見に行った後でお断りをするは大変ではないでしょうか。寄贈の話が来たのに受入れを断った例はありますか。

## ○事務局

年報に昨年度の寄贈品一覧を掲載しておりますが、これらを引き取る際も先方が持っているものをすべて引き取ったわけではなく、実は一部お断りしているものがあります。

寄贈の話が来た時はまず一度現場に出向いてあるものすべて調査をしていますが、一旦持ち帰って引き取るものを決め、次はその物だけをもらいに行くという二段階で進めています。

## ●会長

それがよいかもかもしれませんね。行ったついでにもらってしまうと、検討する時間がないですから。時間を空けて対応するという方法がよいかもかもしれませんね。

## ●委員

今の話題に関連してですが、昨年学校からの寄贈がありましたよね。今は学校の先生が忙しいから、できれば博物館に資料の引き取りをお願いしたいと考える学校が多いように思うのですが、そのあたりはどのような状況でしょうか。

## ○事務局

まず、市町村に博物館がなかった時代に博物館の役目を果たしていたのが、小学校にあった郷土資料室でした。しかし、管理できる先生がいなくなったとか、授業が多様化したりなど、さまざまな理由から、郷土資料室はその役目を終え、いくつかの学校ではすでに廃止されています。

このような経緯を把握しておりましたので、当館の展示に活用できるものに限定してですが、学校から資料をいただいております。今後も資料を手放す学校は出てくるものと考えております。

●会長

ありがとうございました。令和4年度の事業実施報告についてなければ次に移ります。

5 案件（2）令和5年度事業計画について 質疑応答

（事務局説明後、質疑応答）

●会長

ただ今、事務局より令和5年度事業計画について説明がございましたが、何かご質問はございますか。私からは「業良キ物ー日本刀の歴史と八戸の刀工ー」の(4)特別展コレクショントーク(実物資料ハンズオン)に関して。これは本物の日本刀を手を持つことができるのですか。

○事務局

本物の日本刀ではなく、竹光を用いる予定です。

●委員

これまで展示では実物を触ったり、何か体験できたりするようなものをお願いしたいと要望してきましたが、今回は刀ですので、気をつけて実施していただければと思います。

●会長

他に何かございますか。

●委員

今回いただいた特別展のチラシが素敵で、とてもよかったですと思います。

資料5ページ、小中学生のための城歩き講座「お城へ行こう！」に八戸ー三戸間のシャトルバス運行とありますが、参加者はバスで移動するということですか。

○事務局

八戸市内の参加者のうち、ご希望される方を対象に市のマイクロバスで送迎をするというものになります。

●委員

帰りも八戸まで送ってくれる。

○事務局

はい、そうです。

●委員

「お城へ行こう！」はすごくいい企画だと思っています。こどもはっちでは、小学生を対象にLINEを使った情報配信をしているのですが、それを使って案内できればより多くの方に知ってもらえることができると思っています。「お城へ行こう！」に限らず、イベントの情報をこどもはっちあてにいただければ、すぐ配信できますので、広く情報提供できるのではないかと考えております。

あと、資料9ページの南郷ミニSLのイベントはすごく面白そうだと思います。小さい子どもたちも喜びそうなイベントですね。土日はもちろんですが、若いお母さんが動ける平日に開催するのはいかがでしょうか。

●会長

はい、ありがとうございます。たしかに、ミニSLは楽しそうだなと思って見えました。これは土曜日と日曜日だけなのですか。

○事務局

はい、それぞれ1日だけの実施となります。

●会長

そうですか。平日にも実施できればいいのですけどね。

南郷はクジラやペーパーアートを取り上げてきましたけど、今回はそばをテーマにするということで、ようやく南郷らしくなったような感じがします。

●委員

そばの展示に絡めて、そば打ちの体験とか、そばの試食会とかそのようなことはやらないのでしょうか。

○事務局

そば打ち体験については、すでに南郷内のさまざまなところで実施しているイベントになります。例えば山の楽校では定期的に行っております。併催行事でそば打ち体験を実施してみるというのは面白い意見ですが、それはすでに行っている事業者にお譲りした方がよいのかなと考えております。

●委員

たしか博物館や資料館の展示室は飲食禁止ですよ。展示物に影響が出る可能性があるから、そもそもできないということもありますね。

●委員

では、そちらに誘導するような案内をぜひお願いします。

○事務局

分かりました。うまく連携して誘導するようにいたします。

●委員

業良キ物、すごく素敵なパンフレットで、ぜひ見に行きたいと思っておりました。子どもたちは鬼滅の刃のことをよく知っていますし、ジブリにもたたら製鉄に関連した話題が出てきますので、子どもたちも興味をもって入りやすいテーマだなと思っておりました。キャラクターとのタイアップなど子どもたちを惹きつける取組があるとよりよいと思いました。

●会長

ありがとうございました。他にございますか。

●委員

前にも刀をテーマにした特別展があったと思いますが、刀の展示には女性客が多いのですよね。特に若い女性が多くいらっしやっている印象です。先ほど子どもに関する話題も出てきましたけれども、老若男女さまざまな人が特別展には訪れますので、解説文にはできるだけ読み仮名を振ってほしいということを要望したいと思います。ここところは力を入れて取り組んでいただければと思います。

●会長

ありがとうございました。案件3「その他」に移りたいと思います。事務局から何か報告案件等ありますか。

○事務局

特にありません。



●会長

それでは、本日の案件は終了いたしましたので、会議の進行を事務局にお渡ししたいと思います。（以下、事務連絡等）